東京大学

理学部広報

第4巻 第1号　　昭和47年2月5日

12 月理学部会合日誌

4 日（土）	12:30～13:30	学部自治会と学部長会見
8 日（水）	13:00～15:00	人事委員会
	13:30～	会計委員会
13 日（月）	14:30～17:00	理学系研究科委員会
15 日（水）	15:00～17:00	教務委員会
17 日（金）	13:00～13:40	主任会議
20 日（月）	12:30～13:35	理職との会見
22 日（水）	14:00～17:00	教授会

1 月理学部会合日誌

12 日（水）	11:00～12:00	人事委員会
	13:00～16:00	教務委員会
17 日（月）	12:30～13:40	学部長と理職との定例交渉
	14:00～17:00	理学系研究科委員会
19 日（水）	14:00～17:00	教授会
20 日（木）	12:30～13:40	理系自治会，学部自治会との会見
21 日（金）	11:00～14:00	マスタープランの説明会
26 日（水）	14:00～17:00	改革問題懇談会

教授会メモ

12 月 22 日（水） 定例教授会 於4号館物理会議室

1. 前回議事承認
2. 人事異動等報告
3. 学部学生卒業の件

物理学教室早川英男の卒業が 12 月 28 日付で認められた。

4. 教職免許教科に関する専門科目
5. 学内情勢について

教養学部への警官導入についての説明

6. 大学改革について

河田教授柘津教授から意見が述べられた。また，後藤前幹事長から久保前学部長のときに集められた意見分布の性格について説明があった。

上村助教授から改革室で検討中の問題について説明があった。大木教授（幹事長）から具体的な御意見があれば幹事会としてまとめて行きたいとの意向が述べられた。

7. 寄附の件
8. 人事委員会報告
9. 会計委員会報告（島内委員長）

昭和 47 年度営繕工事要求事項および 46 年度設備更新費配分案について説明があった。

久保，大木教授などから意見が述べられた。

10. 教務委員会（飯田委員長）

理学部の全講義が半年を単位として行なわれるようになった。

また，講義にアルファベットによる記号附けを行なった。

第一時限を 10 時に終らせ 10 時 15 分から第2時限を始めることを明確にした。理科教育の終了時間については検討中である。

また，臨時カリキュラムに関して解析Ⅱの教官の問題については一応解決したという報告があった。

理学部で行なわれる講義の一覧表を作るので，学生がいろいろな講義をかなり自由にとれるようになるだろうと期待している。

11．その他

理学部共用分光光度計の運用規定についての説明(桑原教授)（別項参照）

医科研に設置されることになった医療用サイクロトロンについて久保教授より説明があり，理学部として委員会をもうけて欲しいとの申し出があり諒承された。委員会のメンバーは次の通り。

久保教授，西島教授，佐々木(亘)教授，山崎助教授

---

1 月 19 日（水） 定例教授会 於４号館物理会議室

1．前回議事承認

2．人事異動等報告

3．学内情勢について

学部長から最近の他学部の主な動きとして，教養学部においては，昨年 12 月以来学部長が病気療養中のため，当分の間斎藤教授が学部長の職務を代理することになった。経済学部では，大学院経済学研究科の入試に関連（面接試験反対）して 1 月12日学部長室が占拠された旨報告があった。

4．人事委員会報告

委員長今井教授から委員会は 1 月 12 日開催した旨報告があった。

なお，今後日日雇用職員を採用する場合は，採用を予定している教室の主任または関係の教官に委員会に出席して頂き，採用に関しての説明を聞くこととした。これは委員の所属する教室から採用申請があった場合．委員が補足説明することもあるので検討の過程において不均衡を生ずることのないようにしたもので御協力方お願いしたい旨説明があった。

5．教務委員会報告

委員長飯田教授から前回の教授会において了承を得た便覧内容について別紙資料の理学部機構図，昭和 47 年度理学部教務関係年間行事予定表，理学部に関連の強い附置研究所並びに共同利用施設の案内等の説明があり，科目番号については必修科目を先番にしたこと，時間帯の統一は理科教育が他学部講義のため統一出来ないので学部長からも関係学部に協力を働きかけてほしい旨報告があった。

6．47 年度の入試実施について

7．その他

1) 学部長からアメリカ合衆国に 3 月 16 日から 5 月 15 日まで海外出張することになっているので，部長事務代理として大木教授，大学院委員長事務代理を田丸教授にお願いした旨が述べられ了承された。

2) 学部長から本年３月停年退官される４名の方の送別会を 3 月 15 日の教授会終了後行なう予定であったが会場の都合で 3 月 17 日（金）に開催することになったので，多くの教官の御出席をお願い致します。

3) 学部長から来る 1 月 21 日午前 11 時より本学部建築グループと全学建築マスタープラン委員会との合同懇談会を数学会議室で開くことになったのでお知らせします。

4) 学部長から本学附属図書館より昭和 47 年度学部指定書の提出方依頼があり，すでに指定図書記載カードが各教室に配布されているので御記入の上 1 月 24 日までに庶務掛へ御送付願いたい。

5) 学部長からこの程昭和 47 年度予算内示があった旨が述べられ事務長より本学部関係の内示概要として学生当積算校費（大学院博士課程 18% 増，修士課程 15% 増）教官当積算校費（非実験 8 % 増，実験 7 % 増）教官研究旅費 7 % 増，大学院専門課程の設置として科学史科学基礎論博士課程が認められた。学年進行に伴う教官職員の増加（全学で約 40 名），特別設備費で，X線光電子分光装置，核物性研究設備，臨時事業費では西ドイツ電子シンクロトロン研究所との国際共同実験計画経費，特殊装置維持費として放射性炭素年代測定装置(新規)，減額では強収斂シンクロトロン廃棄に伴う減が本学部で，関連機関としては共同利用施設の新設（原子力研究総合センター，教育用計算機センター）事務局に広報調査課の設置が決定した等の説明並びに報告があった。

6) 改革について

学部長からかねて懸案となっている改革問題については，先日の学部長会議に中間報告として理科系試案（Ｉ）と（II）が提出されたがこれについて 1 月 31 日（月）に理科系学部と改革委員会との懇談会があり本学部としても意見を纏めておく必要があるので議論を願いたい。懇談会には各学部５名以内の出席を求めている等の説明があり，改革室上村助教授から教育・研究体制専門委員会で討議されている粗い意見を纏めてＩ・IIの形が出来たもので，この趣旨は試案が作成される段階以前に学部の意見を聞き，その後学部に降す

ことになっている。Iは教育組織，IIは研究組織の観点から見ているもので種々な意見が多くあると思われるので楽な気持で御意見を出してほしい旨説明があった。

教育・研究体制専門委員朽津教授からは委員会の検討内容として (1) 4 年一貫教育，(2) 学部の再編成，(3) 全学建築マスタープラン委員会の構想等を基に議論していたが，長期に亘ることでもあり，改革室からは，改革試案の早期提出を求められている現状にてらし合わせ実施可能と思われる案として先ず教育組織，研究組織の改革を目標として試案が出来上がった旨が述べられ，試案作成に至る経緯並びに委員会として考えられる検討後の見通しについて詳細に亘っての説明があった。

以上の説明があった後意見の交換が行なわれたが長時間に亘ることでもあり別に検討時間を設けることとし，26 日（水）午後（時間は後日通知）教授懇談会を開催し改革委員会との懇談会に向けて検討することになった。

参考資料

理学部機構図

教室（主任）

教室	〔構内電話番号〕（事務室）
数学教室	〔4503〕
物理学教室	〔3247〕
天文学教室	〔6426〕
地球物理学教室	〔6463〕
化学教室	〔2407〕
生物化学教室	〔7370〕
動物学教室	〔6455〕
植物学教室	〔6452〕
人類学教室	〔3289〕
地質学教室	〔3284〕
鉱物学教室	〔2419〕
地理学教室	〔3288〕

理学部（学部長）〔5570〕

- 学科
  - 数学科
  - 物理学科
  - 天文学科
  - 地球物理学科
  - 化学科
  - 生物化学科
  - 生物学科
    - 動物学を主とするもの
    - 植物学を主とするもの
    - 人類学を主とするもの
  - 地学科
    - 地質学，鉱物学を主とするもの
    - 地理学を主とするもの
- 附属施設（施設の長）〔代表電話番号〕
  - 臨海実験所 (0468) 81—4105
  - 植物園 814—0138～9
  - 地球物理研究施設 柿岡 106・259
  - 情報科学研究施設 〔2860〕
- 事務部（事務長）〔2424〕〔構内電話番号〕
  - 庶務（主任）〔2644〕
    - 庶務掛〔2423〕
    - 人事掛〔3291〕
    - 教務掛〔6685〕
    - 大学院掛〔7493〕
  - 会計（主任）〔2633〕
    - 司計掛〔3360〕
    - 給与掛〔7460〕
    - 用度掛〔6424〕

昭和 47 年度 理学部教務関係年間行事予定表

摘　　　要	期　　日
春季休業 進学許可（教養学部に掲示） （進学式の準備，便覧，時間表，学修科目届，進学手続注意）	 3 月 31 日 4/1～4/7
進学式（学部長，コース主任出席）	4/10 頃
夏学期授業開始	4/13 頃
進学手続（期間）（累加記録カード，学修科目の提出，学生証の発行）	4/20 まで
入学式	4/12 頃
授業料免除分納申請，授業料延納・分納願	4月上旬～4月末
学生定期健康診断（前）	4/15～4/27
学修科目申告，他学部聴講願	4/30 頃まで
日本育英会奨学生願書受付	7/1～7/10
進学者数決定	5 月上旬
進学ガイダンス	6 月上旬
夏季休業	7/11～9/10
夏学期授業終了	10/20
夏学期期末試験	10 月中
学生定期健康診断（後）	10 月中旬
進学者振分決定（内定）	10 月中旬
第四学期授業開始（教養）	10/21
第四学期ガイダンス	10/21
冬学期授業開始	10/21
夏学期採点報告	10/30 まで
他学部聴講願	10/30 まで
教職免許状申請	12/20～1/30
冬季休業	12/25～1/7
学士入学，転学部，転学科関係願	1 月末日まで
冬学期授業終了	2/20 頃
学年末試験	2 月中
入学試験	3/3 3/8，9
第四学期試験	3 月中旬
学年末採点報告	3/10 まで
卒業者決定	3 月の教授会
卒業式	3/28

理学部に関連の強い附置研究所と共同利用施設の案内

附置研究所	所在地	代表電話番号
医科学研究所	港区白金台 4-6-1	443-8111
東京天文台	三鷹市大沢 2-21-1	(0422) 32-5111
地震研究所	文京区弥生 1-1-1	812-2111
応用微生物研究所	〃	812-2111
宇宙線観測所	田無市緑町 3-2-1	(0424) 61-4131
原子核研究所	〃	(0424) 61-4131
物性研究所	港区六本木 7-22-1	402-6231
海洋研究所	中野区南台 1-15-1	376-1251
宇宙航空研究所	目黒区駒場 4-6-1	467-1111

共同利用施設受		付電話番号
データ処理センター	文京区本郷 7-3-1	〔6579〕
総合研究資料館	〃	〔2615〕
大型計算機センター	〃	〔7628〕
低温センター	文京区弥生 2-11-16	〔6414〕
アイソトープ総合センター	〃	〔2881〕

理学部共用分光光度計運営規定

第1条　この規定は，昭和 46 年度に購入した米国製キャリー 14 型分光光度計および日本分光 J 10 型自記円二色性分散計（以下分光光度計という）を，広くかつ有効適切に東京大学理学部の共同の用に供するために，その運営に関して必要な事項を定めるものである。

第2条　この規定で，運営とは，分光光度計の維持・保守および利用をいう。

第3条　東京大学理学部に分光光度計運営委員会（以下運営委員会という）を設ける。

運営委員会は分光光度計の運営に関する重要事項を審議する。

第4条　(1) 運営委員会の委員は，東京大学理学部の各利用教室から推薦された教授・助教授または講師で構成する。

(2) 運営委員会は1名の委員長を互選する。

第5条　特別の事項を審議する必要のあるときは，委員長は運営委員会の議を経て臨時委員を委嘱することができる。

第6条　分光光度計は，東京大学理学部物理学教室に備え付ける。

その運営事務所は東京大学理学部物理学教室事務室に置く。

第7条　分光光度計の使用に関して必要な費用は原則として使用者の負担とする。

第8条　運営委員会は分光光度計の運営に関して細則および内規を定め，管理委員会を設けることができる。

(附則)

第9条　この規定は，昭和 46 年 12 月　　日から施行する。

第10条　この規定を改訂するには運営委員会の議を経なければならない。

学部長と理職代表との会見（12 月）について

月例の会見が 12 月 20 日（月）12 時 30 分から理学部会議室で行なわれ，予定通り午後 1 時 30 分に終了した。学部当局側の出席者は小平学部長を含め6名，理職側の出席者は金子委員長を含め約 20 名であった。

議事に入る前に，理職側から 12 月 15 日のストに関する申し入れ，および，当会見の名称を学部長交渉とせよとの要求がなされたが，名称の問題は次回に持越しとなった。討議された議題は次の通りである。

1)　定員削減，理職は現況について質ねると共に，いろいろな形で削減に抵抗することを要望し，学部当局は現況および可能な対策について説明した。

2)　配置転換。理職の要望は，「教室にまたがる配置転換が本人の希望や諸般の事情からもっともと思われる時には実現をとりなせ」ということである。学部当局は「個々の場合にもとづき検討するべきことであるが，必要に応じ理学部人事委員会に検討を依頼することを考える」と約した。

3)　宿・日直問題　年末・年始の宿・日直の実施方法について尋ねて後，理職側は「宿・日直の任務・責任限界について明らかにせよ」と要望した。学部当局は，号館毎に事情の差が大きいが，各号館長と相談し規準を定める努力をすること，およびその進行情況について知らせることを約した。

4)　生化問題　理職側は人事にからむ諸問題の解決を要請し，学部当局は具体的な進展に向けて努力中であると述べた。　　　　　　　　　　　　　　（藤田　宏記）

学部長・理職の交渉（1 月）について

会合は 1 月 17 日（月）12 時 30 分から理学部会議室で行なわれ，学部側からは大木教授（学部長の代理）ほか4名が，理職側からは金子委員長ほか約 15 名が出席し，予定時刻に終了した。

議題に入る前に，前回から持越しの下記の2点につき決定がなされた。

1)　今回よりこの会合を学部と理職との（定例）交渉と呼ぶことにする。

2)　宿・日直の任務・責任限界を明らかにする問題は，既存の文書（関連する規定，心得）を理職が具体的に検討することを当面の段階とする。

理職から提出された議題は，Ⅰ）先日の年末年始の宿日直の手当，Ⅱ）定員削減，Ⅲ）臨時職員の通勤費・ボーナス，などに関するものであった。Ⅰ)，Ⅱ)については，理職は具体的な現況について質問し，学部側の説明を得た上，従来からの主張にもとづき学部当局の配慮を要望した。Ⅲ）については前学部長時代の話合いの理解に関し，理職と学部との間に差異があったけれども，今後検討してゆくこととなった。　　　　　（藤田　宏記）

教官人事移動（除 退・休職）

氏　名	所属	発令事項	発令年月日
大橋廣好	植　物	講師に昇任	46. 11. 1
駒嶺　穆	植　物	助教授に昇任	46. 11. 11
佐藤七郎	植　物	助教授に昇任	46. 11. 11
和田昭允	物　理	教授に昇任	46. 12. 1

外国人研究員

教室（所属）	国籍	氏　名	現　職	研究期間
化　学	中華民国	陳　寿南	台湾省立成功大学理学院化学系教授	昭 47.4.1～同 48.3.31

外国人研究員期間延長

教室	国籍	現　職	氏　名	既研究許可期間	期間延長
地理	フランス	Centre National de la Recherche Scientifique depuis (attaché de recherche)	Jacque PEZEU-MASSA-BUAU	昭 45.4.1～同 47.3.31	昭 47.4.1～同 48.3.31

理学博士学位授与者

学位授与 年月日	専門課程	氏名	論文題目
46. 11. 8	人類学	許　承貴	適応性の生長にともなう変化の過程および性による差異について
46. 11. 8	学位規則第3条2項該当	磯崎一郎	An Investigation on the Variations of Sea Level due to Moteorological Disturbances on the Coast of the Japanese Islands (気象擾乱によって起こる日本沿岸の水位変動の研究)
46. 11. 8	同	高橋正雄	核燃料・炉材料の分光分析に関する研究
46. 12. 13	同	庄司雅一	Gunn 効果機能素子の研究
46. 12. 13	同	磯部琇三	Evaporation of Dirty Ice Particles Surrounding Early-Type Stars (早期型星周辺の氷粒子の蒸発)
46. 12. 13	同	阪上信次	石油アスファルトに関する物理化学的研究
46. 12. 13	同	山岡亜夫	Spectroscopic Studies on Reactions through Electron Donor-Acceptor Interaction 「電子供与体-受容体の相互作用を経る化学反応の分光学的研究」
46. 12. 13	同	石津純一	Studies on Genetic Regulation Systems of Arginine and Pyrimidine Biosyntheses in *Salmonella typhimurium* by Arginine Sensitive Mutants (アルギニン感受性突然変異体によるネズミチフス菌のアルギニンおよびピリミジン合成系の遺伝的調節機構に関する研究)
47. 1. 17	植物学	和田正三	Photocontrol of the orientation of cell division in Adiantun (ホウライシダにおける細胞分裂方向の光による制御)
47. 1. 17	人類学	小杉弘子	ヒトの年令と皮下脂肪の構造について
47. 1. 17	学位規則第3条2項該当	石井　力	Theory of Phase Coherence in Pure SNS-Junction (純 SNS-接合における位相結合の理論)
47. 1. 17	同	川村　清	Description of Physical Properties of Magnetic Dilute Alloys with Green Functions (磁性希薄合金の物理的性質のグリーン関数による記述)
47. 1. 17	同	菅原活郎	シリコン結晶成長と界面現象
47. 1. 17	同	三田　達	Studies on Anionic Living Polymerizations (リビングアニオン重合に関する研究)
47. 1. 17	同	高木友雄	Investigation on the strong phosphoric acid decomposition method (強リン酸分解法の研究)
47. 1. 17	同	民永　巌	オキソオキサラトウォルフラム(V)酸錯体の研究
47. 1. 17	同	石本剛一	マカク属サルの血液蛋白変異に関する研究

理学部ところどころ

古い文書から No. 7

今回は明治 17 年，18 年，19 年の新聞紙面から理学部に関連のある記事を拾いあつめてみた。4番目の朝野新聞の記事は，昨年 3 月 15 日号の理・広報の記事（飼養馬明細一覧）に関係ありといってよいであろう。

○明治 17 年 3 月 15 日〔東京日日〕

小藤文次郎　独逸の学位受領

文部省派遣留学生理学士小藤文次郎氏は独逸国ライプチック府大学校に在学せられしが，昨年 12 月同校に於て理学科試験に及第し，「ドクトル・デル・フィロソフィー」の学位を受領せられたりと云ふ。

○明治 17 年 5 月 2 日〔郵便報知〕

小藤文次郎帰朝
東京大学理部勤務

小藤文次郎氏は先年自費にて外国に留学し此ほど帰朝せられしが，昨1日文部省に於て，准奏任御用掛東京大学理学部勤務を命ぜられ，年俸1.200円を下賜さる。

○明治 17 年 8 月 11 日〔東京日日〕

東京大学新築落成
理学部は一ツ橋のまゝ

本郷本冨士町へ新築の東京大学は全く落成せしに付き，一昨9日より移転，事務を扱はる，又た法，文の両学部は 9月11日より新築の校舎にて授業せられ，理学部だけは従前の所に置かれたり。

○明治 18 年 8 月 14 日〔朝野〕

百円以上の官員様
お馬の俄稽古
乗馬令の発布で

先頃乗馬令の発布ありしにより，月俸百円以上の官吏は皆乗馬せらるることになりしが，俄かの事なれば多くの官吏中には未熟の方々もありて，往々落馬又は怪我等をなす向もあるに付，乗馬会社といふを設け，九段坂下にて毎日曜日に乗り習はるるもありしに今度また出願の上教導団の騎兵士官並に下士官等より教授を受けらるる事になり，すでに昨日は日比谷練兵場にて稽古ありしとの事。

○明治 18 年 11 月 2 日〔時事〕

東京大学卒業生学位授与式

去月 31 日東京大学に於て前学年卒業学生へ学位授与せし其次第を聞くに，当日臨場の人々は大臣，参議，外国公使を始め文部書記官等百有余名にして，午後1時一同式場に着席の上加藤大学総理より学生へ学位記を授与し，次に同総理並に大木文部卿の祝辞，学生総代の答辞ありて式を了りて一同へ茶菓の饗応ありたり，右学位を授与せられたるは次の如し。

理学士（他の学士は略）
北條時敬，熊沢鏡之助，沢井廉，早崎信太郎，堀鉞之丞，松井元次郎，坪井九馬三，村瀬光国，箕作元八，斎田功太郎，和田義睦，本多忠行，多田綱宏，山田直知，田島晴雄

○明治 19 年 3 月 16 日〔朝野〕

人類学会創立

元老院議官神田孝平氏，その他有識の諸氏が此度人類学会と云ふを設け，毎月人類学会雑誌を発兌さるる計画なりと。

○明治 19 年 3 月 26 日〔時事〕

子午線並時計掛任命
菊池大麓と寺尾壽

東京大学理学部長菊池大麓，同教授寺尾壽の両氏は本邦子午線並時計掛仰付られたり。

○明治 19 年 4 月 9 日〔朝野〕

東京大学記念日 3 月 1 日と決定

昨日渡辺大学総長より自今本学記念日を3月1日と相定め候趣と達せられたり。但し元東京大学記念日は消滅せしものと心得べしとの事なり。

明治 32 年 7 月 10 日の本学卒業式以降，式当日陛下が本学に行幸になり，卒業学生のうちの優等生に対して銀時計を下賜されることになった。このことは大正7年7月の卒業式を最後としてとりやめとなったが，その間本学部学生で，優等生に推せんされたものの氏名を教授会議事録からさがし出してみた。

記

卒業年月	全学の優等生数	理学部の学生氏名
明治 32. 7	22	柴田桂太（植物）
〃 33. 7	17	片山正夫（化学） 谷津直秀（動物）
〃 34. 7	10	矢部長克（地質）
〃 35. 7	13	
〃 36. 7	12	鈴木庸生（化学）
〃 37. 7	12	
〃 38. 7	13	藤原松三郎（数学）
〃 39. 7	15	
〃 40. 7	11	広部　一（化学）
〃 41. 7	14	窪田忠彦（数学） 河村多美次（動物）
〃 42. 7	15	

卒業年月	全学の優等生数	理学部の学生氏名
明治 43. 7	14	竹内端三（数学）
〃 44. 7	16	亀田豊治朗（数学）
〃 45. 7	17	杉村欣次郎（数学）
大正 2. 7	18	
〃 3. 7	21	清水武雄（物理） 石井善七（物理） 鮫島実三郎（化学）
〃 4. 7	20	
〃 5. 7	22	黒河竜三（数学） 松本唯一（地質）
〃 6. 7	21	百済教猷（星学） 菊池泰二（物理）
〃 7. 7	20	
	計 323 名	

（吉野誠治）

編集　和田昭允
理・1 号館 217 号室　内線 2298